

事例

ビジネススキルで食育推進 食べると学ぶが由来のサイト“ガクタベ”で食育情報を一元化し見える化 ～楽しみながら食育情報に触れられる仕組みづくり～ (第9回食育活動表彰 審査委員特別賞受賞)

宮城学院女子大学現代ビジネス学部現代ビジネス学科^{ますい}舂井ゼミナール (宮城県)

宮城学院女子大学現代ビジネス学部現代ビジネス学科舂井ゼミナールは、ICT¹を活用して、地域社会が直面している課題の解決や持続可能な発展の支援を行うため、地方公共団体や企業と連携しています。

その一環として、宮城県^{ひがしまつしま}東松島市からコロナ禍の児童生徒の肥満対策の相談を受け、食育とICTを掛け合わせた取組としてウェブサイト「ガクタベ」を開設しました。このサイトは、「学び」と「食べる」をかけて名付けたもので、朝食を食べる利点や、食品の栄養素等を学ぶクイズ、市独自の取組等を掲載し、食育と健康づくりの情報を発信しています。クイズは地元の小学生とコラボして考案したものもあり、各家庭において親子で楽しみながら学べるものとなっています。

また、調理工程の解説付きレシピや各種食育動画等を「ガクタベ」で発信しています。

そのほか、地域のイベント「ひがしまつしま食べメッセ」での世代別の食べ方をまとめた「食べる学校テキスト」の紹介や、ガクタベのサイト体験会での塩分チェックの実施等、生涯を通じた心身の健康を支える食育を推進するべく、幅広い世代に向けた取組を行っています。

ゼミ生は、市と月1回程度ミーティングを実施するほか、児童や生産者、飲食店事業者等と直接ふれあう中で得た情報もサイト内で発信しています。市の担当者からは「学生たちが市民のために試行錯誤し、想いを形にしてくれた。家族^{らん}団欒のツールの一つにしてもらい、知る楽しみを感じながら心と体の健康につなげてほしい。」と評価の声を頂いています。

今後は、食育情報として、生産者の想い、生産物を調理体験した児童の様子、若い女性のやせと健康・栄養問題を改善するための情報を追加で掲載していくほか、地域の特性に合わせた食育のツールを拡充することで、幅広い世代へ食育情報を届ける仕組みを構築する予定です。



イベントでの体験の様子



児童とのふれあいの様子

1 Information and Communication Technologyの略。情報通信技術のこと。